

2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	社会環境学科	履修者数	1,875
------	--------	------	-------

回答者数	983
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	248	372	214	149	0
	25.2	37.8	21.8	15.2	0.0

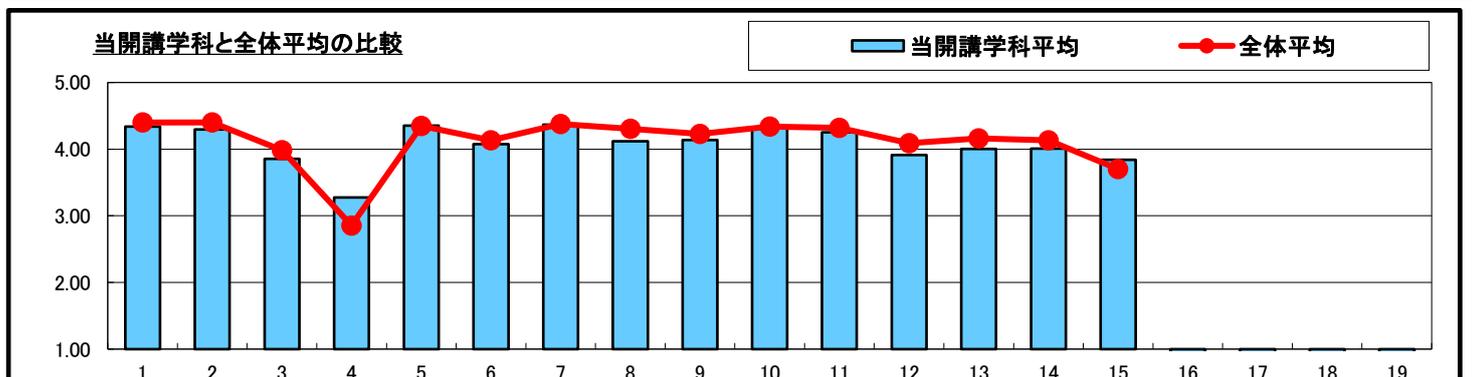
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.34	494 50.3	371 37.7	83 8.4	28 2.8	7 0.7	983	0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.30	488 49.7	351 35.8	94 9.6	40 4.1	8 0.8	981	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.85	291 29.7	346 35.3	267 27.2	62 6.3	15 1.5	981	2

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.28	2時間以上 191 19.5	1時間以上 2時間未満 220 22.4	30分以上 1時間未満 323 32.9	30分未満 165 16.8	全くして いない 83 8.5	982	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.35	483 49.2	379 38.6	103 10.5	12 1.2	4 0.4	981	2
6	この科目の難易度は適切であった	4.08	378 38.5	399 40.6	128 13.0	56 5.7	21 2.1	982	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.36	497 50.7	362 36.9	109 11.1	9 0.9	4 0.4	981	2
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立つ	4.12	386 39.3	380 38.7	172 17.5	32 3.3	11 1.1	981	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.14	430 43.9	337 34.4	146 14.9	50 5.1	17 1.7	980	3

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.31	497 50.8	334 34.1	116 11.8	23 2.3	9 0.9	979	4
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.25	475 48.6	343 35.1	110 11.2	32 3.3	18 1.8	978	5
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	3.91	341 34.8	350 35.7	183 18.7	73 7.4	33 3.4	980	3
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.00	355 36.3	374 38.2	168 17.2	57 5.8	24 2.5	978	5
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.01	362 37.1	358 36.6	181 18.5	54 5.5	22 2.3	977	6
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.84	十分に 読んだ 276 28.2	よく読んだ 401 41.0	どちらとも いえない 193 19.8	ほとんど 読まなかった 80 8.2	全く読んで いない 27 2.8	977	6

▼学科設問									
16		-	0	0	0	0	0	0	983
17		-	0	0	0	0	0	0	983
18		-	0	0	0	0	0	0	983
19		-	0	0	0	0	0	0	983



2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	社会環境学科
講評者	社会環境学科長 河本 尋子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境やクラスサイズ等について概ね良好・適切という回答が合計 85%以上を占めていました。他方、周りの学生の熱意については、多少良好な回答率が下がりますが、65%以上という結果と捉えています。但し、大学全体の集計結果と比較しますと、いずれもやや平均値が下がっており、今後、現在の学びのための環境を維持・改善できることと、学生が関心を持てる授業の展開が重要と考えます。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	授業時間外学修では、大学全体に比べて、本学部の授業に対して、より多くの時間を費やして臨んでいる傾向がみとめられます。その他、科目の難易度の適切さや学びを深める上での有益さについても、本学部の平均値は高いように解釈できるのですが、大学全体よりはやや低い結果となりました。これは、本学部の特徴として、選択・所属するコースの科目以外にも単位修得する必要がある、そのような特色が影響したと推測されます。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員の話し方や、講義の板書・スライド・配布資料などは適切だったとの回答が合計 80%を超えていました。一方で、学生に質問や意見を求めるような、授業参加を促す工夫は、大学全体と比べますと、さらに行われてもよいように読み取ることができます。受講生の人数や授業内容等によっても異なりますが、学生の反応・理解の確認と合わせて、授業参加促進のための時間を確保する対応が求められます。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	該当なし